

Df・FI/Tr

坂部のかげ踊り



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県下伊那郡天龍村神原 2136
緯度・経度：北緯 35 度 13 分 21.0 秒
東経 137 度 49 分 22.3 秒
伝承形式：行事・祭り
種類 / 要因：土石流・洪水・湛水 / 集中豪雨
災害発生：1789 年（寛政元年）
建立時期：不明
指定等：国選択無形民俗文化財
周辺地形：山地・溪谷



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

坂部のかげ踊りは神原坂部で 100 年以上続くお祭りです。伝承では 1789 年（寛政元年）に七日七夜にわたる大雨により坂部本村の上の山に大きな地割れなどができたため、雨止めを願って始めたのがこの「願掛け踊り」であるといわれています。

周辺案内

国の重要無形民俗文化財に指定されている天龍村の「霜月神楽」の一つにあたるのが、坂部の冬祭りです。大森諏訪神社で行われ、1 月 4 日の夕方から始まり、24 時間続き、明け方に赤鬼が大まさかりを持って現れ、二人の宮人が擧げ持つ松明をまさかりで切る「たいきり面」が、この祭りの一番の見所となります。